

創立20周年に寄せて

松戸市長 本郷谷 健次

この度、特定非営利活動法人 松戸市学童保育の会が創立20周年という節目の年を迎えられますことは、誠に喜ばしいことであり、心からお祝いを申し上げます。これも偏に、鈴木理事長をはじめ歴代の役職員の皆様の並々ならぬ熱意とご努力、そして保護者の皆様や指導員の方々のご尽力の賜物と心から敬意を表するとともに、感謝を申し上げる次第でございます。

貴会は、2002年9月に多くの諸先輩達が築き上げてきた松戸の学童保育の歴史と理念、事業運営のノウハウを引き継ぎ、学童保育のさらなる発展と継承をするためにNPO法人「松戸市学童保育の会」を設立され、働く親の労働保障と放課後の子ども達の豊かな生活を保障するという、社会的にも重要な役割を果たされており、私ども行政に取りましても大変心強く思っております。

子どもは、日本の将来を担う「社会の宝」であり、子ども達を誰一人取り残さず大切に育むことは、社会全体の責務であるとともに、本市の未来を創っていく根幹であると考えております。特に学童保育の果たす役割は、普段の遊びや生活の中で、知識、技能、思考力など様々な人格形成の基礎を培い、その後の子供たちの学びと資質・能力の向上に大きく寄与するものであり、大変重要であると認識しております。

本市では、「子育て、教育、文化を軸とした都市ブランドづくり」を政策の柱とし、「子育てしやすいまち」として選ばれるまちづくりを進めて参りますのでご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、松戸市学童保育の会の益々のご発展と、皆様方のご健勝を心から祈念申し上げ、お祝いのご挨拶といたします。